

学会発表

国際学会

1. Nakahara T, Makiko Kido-Nakahara, Furue M. Endothelin-1 is upregulated in atopic dermatitis and can modulate the function of dendritic cells directly. 14th International workshop on LC, 2015/11/5-8, Kyoto, Japan
2. Makiko Kido-Nakahara, Mst. Khudishta Aktar, Masutaka Furue, and Takeshi Nakahara. Mutual upregulation of endothelin-1 and IL-25 in atopic dermatitis. 8th World Congress on Itch. 2015/9/27-30, Nara, Japan
3. Hachisuka J, Snyder LM, Cai X, Koerber HR, Ross SE. A spinal microcircuit that mediates the inhibition of itch by counter stimuli. 8th World Congress on Itch. 2015/9/27, Nara, Japan
4. Hachisuka J. Optogenetic probing of spinal microcircuits uncovers novel mechanisms underlying the amplification of pain and itch. Spring Pain 2015, American Pain Society. 2015/5/11-19, Palm Springs, USA.
5. Hachisuka J, Snyder LM, Cai X, Todd AJ, Koerber HR, Ross SE. Optogenetic probing of spinal microcircuits uncovers novel mechanisms underlying the amplification of pain and itch. 2015/6/11-12, Pittsburgh, USA.
6. Tsuji G, Nakahara T, Uchi H, Mitoma C and Furue M. Activation of aryl hydrocarbon receptor-nuclear factor erythroid 2-related factor 2 axis by epidermal growth factor receptor inhibitors: a possible mechanism for acneiform eruption. 45TH ANNUAL ESDR MEETING. 2015/9/9-12, ROTTERDAM, THE NETHERLANDS
7. Tsuji G. Activation of AhR-Nrf2 signaling axis by epidermal growth factor receptor inhibitors: a possible mechanism for acne inform eruption. Leibniz-Research Institute for Environmental Medicine, 2015/9/3, Düsseldorf, Germany.
8. Oba J, Wang WL, Eterovic AK, Stephan CC, Roszik J, Kale CR, Haymaker CL, Routbort M, Haydu LE, Bernatchez C, Davies MA, Lazar AJF, Grimm EA, and Woodman SE. A global genomic and small molecule inhibitor interrogation of KIT mutant melanoma to reveal underlying biology and novel molecular targets. 2015 ASCO Annual Meeting. 2015/5/30-6/2, Chicago, USA
9. Esaki H, Czarnowicki T, Gonzalez J, Malajian D, Talasila S, Berry A, Gray J, Noda S, Krueger JG, Paller AS, Guttman-Yassky E. Early pediatric atopic dermatitis shows only CLA⁺ Th2/Th1 imbalance, while adults acquire CLA⁺ Th22 subset

- activation. Society for Investigative Dermatology 74th Annual Meeting. 2015/5/6-9, Atlanta, USA
10. Esaki H, Czarnowicki T, Gonzalez J, Malajian D, Talasila S, Berry A, Gray J, Noda S, Krueger JG, Guttman-Yassky E, Paller AS. Pediatric atopic dermatitis is characterized by increased T-cell activation with aberrant T-cell development. Society for Investigative Dermatology 74th Annual Meeting. 2015/5/6-9, Atlanta, USA
 11. Kabashima K, Nemoto O, Furue M, Nakagawa H, Matsuki S, Mihara R, Ruzicka T, Hanifin J, Kumagai Y. A humanized antibody for Interleukin-31 receptor A, rapidly improved pruritus in patients with moderate to severe atopic dermatitis in a phase 1 clinical study. 23rd World Congress of Dermatology. 2015/6/8-13, Vancouver, Canada
 12. Lee KH, Hachisuka J, Adelman PC, Ross SE, Davis BM, Koerber HR. Characterization of optogenetic activation of non-peptidergic C-fibers. Society for Neuroscience. 2015/10/17-21, Chicago, USA.

国内学会

1. 古江増隆, 中原剛士, 中原真希子. アトピー性皮膚炎の将来治療と痒みのコントロール. 第20回アトピー性皮膚炎治療研究会シンポジウム 2015/2/14, 鳥羽市
2. 古江増隆. アトピー性皮膚炎の最近の知見 日本皮膚科学会第372回福岡地方会 スポンサー特別講演 2015/3/14, 福岡市
3. Masutaka Furue, Hiroshi Uchi, Dermoscopic imaging of skin surface, Invited talk, International conference on biosensors, bioelectronics, biomedical devices, bioMEMS/NES and applications, 2015/12/9-11, 福岡市
4. 竹内聡, 三田村康貴, 岩崎菜保子, 中尾匡孝, 東修智, 松本大輔, 本下潤一. ウェルナー症候群患者の難治性潰瘍部に生じた Sarcomatoid carcinoma の一例. 第372回 日本皮膚科学会福岡地方会 2015/3/15, 福岡市
5. 竹内聡, 岩崎菜保子, 中尾匡孝, 東修智, 松本大輔, 今村和子, 久保田由美子. タクロリムス外用開始後、比較的短期間で有棘細胞癌を生じた口唇扁平苔癬の一例. 第114回 日本皮膚科学会総会 2015/5/29-31, 横浜市
6. 内博史. 悪性黒色腫の免疫療法について. 第75回福岡がん化学療法研究会. 2015/6/24, 福岡

7. 内博史. 化学療法未治療進行期悪性黒色腫患者における Ipilimumab の DTIC 併用国内第 2 相臨床試験. 第 31 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会. 2015/7/3, 大阪
8. 内博史. 悪性黒色腫の治療 - 癌免疫の新たな展開 -. 第 30 回日本生殖免疫学会(ランチタイムセミナー) 2015/11/21, 熊本
9. 中原剛士. シンポジウム「アレルギー予防と乳児期早期のブラックボックスへの挑戦」石垣島でのアトピー性皮膚炎のコホート研究. 第 64 回日本アレルギー学会学術大会 2015/5/26, 東京
10. 中原剛士, 高山浩一, 中原真希子, 中西洋一, 古江増隆. 癌薬物療法 (EGFR 阻害薬) に伴う皮膚障害についての新たな知見 - 皮膚生理学的変化の部位差より -. 第 114 回日本皮膚科学会総会 2015/ 5/28-30, 横浜
11. 中原剛士. マウス悪性黒色腫浸潤樹状細胞の経時的機能解析とその腫瘍微小環境における役割. 第 114 回日本皮膚科学会総会 2015 /5/28-30, 横浜
12. 中原剛士, 中原真希子, 古江増隆. アトピー性皮膚炎における表皮による起痒物質・サイトカイン産生制御とその樹状細胞への影響. 第 25 回日本樹状細胞研究会 2015/7/10, 岡山
13. 中原剛士, 高山浩一, 中西洋一, 古江増隆. 上皮成長因子受容体 (EGFR) 阻害薬に伴う皮膚生理学的変化の部位差からみた効果的な支持療法について. 第 13 回日本臨床腫瘍学会学術大会 2015/ 7/16, 札幌
14. 中原剛士. シンポジウム アトピー性皮膚炎: アトピー性皮膚炎の内服療法. 第 45 回 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会 2015 11/20-22, 島根
15. 中原真希子. シンポジウム 16 アトピー性皮膚炎の自然経過と難治化の要因: 21 世紀の患者の動向「成人の疫学」 第 64 回アレルギー学会学術大会 2015/5/26-28, 東京
16. Makiko Kido-Nakahara, Mst. Khudishta Aktar, Masutaka Furue, and Takeshi Nakahara. Mutual upregulation of endothelin-1 and IL-25 in atopic dermatitis. 日本研究皮膚科学会第 40 回年次学術大会・総会 2015/12/11-12, 岡山
17. 原田佳代, 前原恵里子, 和田尚子, 高松紘子, 原田佳代, 桐生美麿, 小田義直, 占部和敬. 左肩に発生した cellular angiofibroma の 1 例. 第 114 回日本皮膚科学会総会 2015/5/29-31, 横浜市
18. 原田佳代, 松田知与, 岡部倫子, 高松紘子, 占部和敬, 岡村精一. 多発性骨髄腫の加療により軽快した続発性クリオプロブリン血症の 1 例. 第 375 回福岡地方会 2015/11/23, 福岡市
19. Tsuji G, Ito T, Ono F, Uchi H, Nakahara T, Hashimoto-Hachiya A, Furue M. Activation of OVOL1-OVOL2 axis in hair bulb, pilomatricoma and pilomatrix

- carcinoma. 日本研究皮膚科学会 第 40 回年次学術大会・総会 2015/12/11-13, 岡山.
20. 伊東孝通, 和田麻衣子, 永江航之介, 中村美沙, 中原剛士, 萩原明人, 古江増隆, 内博史. 末端黒子型悪性黒色腫においてセンチネルリンパ節生検を施行すべき条件について 第 114 回 日本皮膚科学会総会 2015/05/30, 横浜市
 21. 伊東孝通, 内博史, 山田裕一, 小田義直, 古江増隆. 爪甲色素線条を呈した onychopapilloma の 1 例 第 31 回 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 2015/07/04, 大阪府
 22. 杉山晃子, 岸川禮子, 本荘哲, 下田照文, 西江温子, 本村知華子, 田場直彦, 村上洋子, 岩田実穂子, 小田嶋博, 岩永知秋, 古江増隆. WDEIA 患者における ACE genotype の検討 第 64 回日本アレルギー学会春季臨床大会 2015/5/26-28 東京
 23. 杉山晃子, 岸川禮子, 本荘哲, 下田照文, 西江温子, 本村知華子, 田場直彦, 村上洋子, 岩田実穂子, 小田嶋博, 岩永知秋, 古江増隆. WDEIA と ACE genotype との関連について 第 45 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会 2015/11/20-22 島根
 24. 林亜矢子, 吉田盛史, 大木研一. マウス第一体性感覚野での振動刺激に対する細胞特異的応答. 第 38 回日本神経科学大会 2015/07/30, 神戸市
 25. 中尾匡孝, 岩崎菜保子, 竹内聡. 口囲と手掌に限局性に症状を繰り返した Linear IgA bullous dermatosis. 第 67 回日本皮膚科学会 西部支部学術大会 2015/10/17-18, 長崎
 26. 河野美己, 坂本佳子, 執行あかり. 活性型ビタミン D3 軟膏外用が奏効した infantile acropustulosis の 1 例. 第 215 回日本皮膚科学会熊本地方会 2015/2/15, 熊本市
 27. 見明彰, 菊池智子, 古江増隆. 進行性顔面片側萎縮症の 1 例. 第 375 回日本皮膚科学会 福岡地方会 2015/11/23, 福岡市
 28. 伊地知亜矢子, 冬野洋子, 伊藤さおり, 内博史, 古江増隆, 小田義直. Hybrid nerve sheath tumor (schwannoma-perineurioma) の 1 例. 第 372 回福岡地方 2015/3/14-15, 福岡市
 29. 中川理恵子, 一木稔生, 陣内駿一, 幸田太, 三苦千景, 古江増隆. ビデンスピローサ茶の飲用が奏功した皮膚型結節性多発動脈炎の 1 例. 第 375 回福岡地方会 2015/11/23, 福岡市
 30. 河原紗穂, 中原真希子, 伊東孝通, 伊藤絵里子, 安河内由美, 内博史, 古江増隆, 桐生美麿. Tumor of the follicular infundibulum の多発例. 第 67 回日本皮膚科学会西部支部学術大会. 2015/10/17-18. 長崎

31. 河原紗穂,冬野洋子,伊藤さおり,内博史,古江増隆. アトピー性皮膚炎皮疹部に生じた cutaneous focal mucinosis の多発例.日本皮膚科学会第 372 回福岡地方会. 2015/3/14-15, 福岡市
32. 和田麻衣子,伊東孝通,加来裕美子,伊地知亜矢子,中村美沙,中原真希子,内博史,古江増隆. ランゲルハンス細胞肉腫と血管肉腫を合併した1例. 第114回日本皮膚科学会総会 2014/5/29-31, 横浜市
33. 和田麻衣子,鈴木翔太郎,大山拓人,川上善久,高木誠司,大慈弥裕之. Superficial angiomyxoma の1例. 第98回九州・沖縄形成外科学会学術集会 2015/6/27, 福岡市
34. 加来裕美子,伊東孝通,稲富裕祐,永江航之介,中原剛士,内博史,古江増隆. 乳房外パジェット病(EMPD)における mapping biopsy の有用性について. 日本皮膚科学会総会 2015/5/30, 横浜市.
35. 加来裕美子,竹下弘道. 色素失調症の2例. 臨床皮膚科学会 2015/6/20, 網走市.
36. 加来裕美子,冬野洋子,竹下弘道. Persistent of papules and plaque を呈した成人 Still 病の1例. 中部支部学会 2015/10/31, 神戸市.
37. 宇佐川祐子,伊東孝通,辻学,内博史,古江増隆. 小児の頭部に生じた Syringocystadenoma papilliferum の1例.第42回皮膚かたち研究学会学術大会 2015/6/21,東京
38. 宇佐川祐子,永江航之介,伊東孝通,小田義直,内博史,古江増隆. 右下腹部に生じた fibrosarcomatous DFSP の1例.第31回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 2015/7/4,大阪
39. 宇佐川祐子,永江航之介,内博史,古江増隆. 右大腿部に生じた Intramuscular myxoma の1例.第30回日本皮膚外科学会学術大会 2015/10/10,神戸
40. 前川朋子,武信肇,増野年彦. Ewing 肉腫/未分化神経外胚葉性腫瘍(primitive neuroectodermal tumor : PNET)の1例 第31回 臨床皮膚科学会 2015/6/20-21,網走
41. 前川朋子,森岡友佳,前原恵里子,和田尚子,堤碧,溝手政博,辻学,高松紘子,中原剛士,内博史,古江増隆. 増殖性天疱瘡の1例. 第66回日本皮膚科学会中部支部学術大会 2015/10/31-11/1, 神戸市
42. 前川朋子,伊藤絵里子,森岡友佳,前原恵里子,和田尚子,溝手正博,辻学,内博史,増田亜希子,古江増隆.S-カルボキシメチル-L-システイン(ムコダイン®)による多発性固定薬疹の1例. 第45回皮膚アレルギー接触皮膚炎学会 2015/11/20-22, 島根
43. 和田尚子,高松紘子,前原恵里子,原田佳代,占部和敬. HIV 感染者に生じた cutaneous mucinosis の1例. 第372回福岡地方会 2015/3/14-15, 福岡市

44. 和田尚子,高松紘子,前原恵里子,原田佳代,内博史,占部和敬,古江増隆. HIV 感染者に生じた cutaneous mucinosis の1例. 第 66 回日本皮膚科学会中部支部学術大会 2015/10/31-11/1, 神戸市
45. 村田真帆,安川晋輔. Psedoxanthoma elasticum-like papillary dermal elastolysis の1例. 第 374 回福岡地方会 2015/09/27, 北九州市
46. 村田真帆,安川晋輔. 皺襞向性増殖を呈した顔面の Eccrine poroma の一例. 第 114 回日本皮膚科学会総会 2015/05/30, 横浜市
47. 宮崎玲子,内博史,古江増隆. 当初脱分化型脂肪肉腫と診断した未分化多形肉腫の一例. 第 374 回日本皮膚科学会 福岡地方会 2015/9/27, 北九州
48. 岡部倫子,松田知与,原田佳代,高松紘子,占部和敬. 腰背部に生じた epithelioid angiosarcoma の1例. 第 67 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2015/10/17-18, 長崎市
49. 増田亜希子,安河内由美,古賀哲也,中家一寿,石川崇彦.アトピー性皮膚炎患者にみられた敗血症を合併した上腕蜂窩織炎の1例. 第 375 回福岡地方会 2015/11/23, 福岡
50. 増田亜希子,和田麻衣子,溝手政博,伊東孝通,中原真希子,菊池智子,古江増隆. 顔面に難治性の皮膚潰瘍を生じた円板状エリテマトーデスの1例. 第 374 回福岡地方会 2015/9/27, 福岡
51. 前原恵里子,和田尚子,高松紘子,原田佳代,占部和敬,桐生美麿. Thiamazole による薬剤誘発性ループスの1例. 第 114 回日本皮膚科学会総会 2015/5/29-31, 横浜市
52. 前原恵里子,和田尚子,松田知与,岡部倫子,高松紘子,原田佳代,占部和敬,今山修平. MDS に随伴発症し CRP 値が病勢を反映した汎発性環状肉芽腫. 第 373 回福岡地方会 2015/7/4-5, 久留米市
53. 前原恵里子,和田尚子,松田知与,岡部倫子,高松紘子,原田佳代,占部和敬. 難治性慢性蕁麻疹に対するワーファリンとレセルピンの治療効果について. 第 45 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会 2015/11/20-22, 松江市
54. 前田彩未,伊藤宏太郎,今福伸一. 急速に壊疽が進行し左足趾切断に至った皮膚型結節性多発動脈炎の一例. 第 38 回皮膚脈管・膠原病研究会 2015/1/23, 東京
55. 前田彩未,見明彰,菊池智子.化学療法後に発症し HHV-6 陽性であった Stevens-Johnson 症候群の1例 2015/10/31,神戸
56. 坂本佳子,河野美己,執行あかり. 低亜鉛母乳による後天性亜鉛欠乏症の1例 日本皮膚科学会第 215 回熊本地方会 2015/02/15, 熊本

57. 坂本佳子,工藤恭子,大久保一宏,都研一,古江増隆. 線状黄色腫を契機に診断した原発性高コレステロール血症の小児例 第 67 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2015/10/17, 長崎市
58. 坂本佳子,工藤恭子,桐生美麿,古江増隆. 大腿に生じた tufted angioma の 1 例 日本皮膚科学会第 375 回福岡地方会 2015/11/23, 福岡
59. 森岡友佳,辻学,河原沙穂,溝手政博,中原剛士,内博史,石井文人,古江増隆. 紅皮症を呈した水疱性類天疱瘡の 1 例.第 373 回福岡地方会 2015/7/5, 久留米
60. 森岡友佳,辻学,河原紗穂,溝手政博,中原剛士,内博史,古江増隆. 持続陰圧閉鎖療法が有効であった Unilateral Pustular pyoderma gangrenosum の 1 例.第 67 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2015/10/18,長崎市
61. 陣内駿一,一木稔生,中川理恵子,幸田太,古江増隆. 当院で広範囲熱傷に対し自家培養表皮(ジェイス)を用いた 5 例. 日本皮膚科学会第 375 回福岡地方会 2015/11/23, 福岡市
62. 陣内駿一,一木稔生,中川理恵子,幸田太,古江増隆. 四肢に潰瘍が多発したリポイド類壊死症の一例. 日本皮膚科学会第 374 回福岡地方会 2015/9/27, 北九州市
63. 稲富裕佑,上藺健一,花田麻須大,吉田聖,門田英輝. 縫合固定を全く行わない分層植皮固定. 第 97 回九州・沖縄形成外科学会 2015/2/28, 長崎市
64. 稲富裕佑,上藺健一,花田麻須大,吉田聖,門田英輝. 頭頸部領域における陰圧閉鎖療法のコツと工夫. 第 58 回形成外科学会総会 2015/4/8, 京都市
65. Inatomi Y, Kamizono K, Hanada M, Yoshida S, Kadota H, Yasumatsu R, Nakashima T, Miyazaki R, Matsuo M, Koike K. Vascular augmentation in free jejunal transfer. 第 39 回日本頭頸部癌学会 2015/6/5, 神戸市
66. 堤碧,三苦千景,宇佐川祐子,伊藤さおり,中島健太郎,古賀友紀,内博史,古江増隆. Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm の 1 例. 第 39 回第 39 回小児皮膚科学会学術大会 2015/7/18-19, 鹿児島
67. 隈有希,伊東孝通,大塚晶子,永江航之介,内博史,黄倉真恵,山下利春,古江増隆. 免疫不全による HPV の慢性感染が発症に関与したと考えた有棘細胞癌の 2 症例. 第 114 回日本皮膚科学会総会 2014/5/30, 横浜市
68. 岩崎菜保子,中尾匡孝,竹内聡. アルファカルシドールによる乾癬型薬疹の一例. 第 64 回 日本アレルギー学会学術大会 2015/5-26-28, 東京.
69. 岩崎菜保子,中尾匡孝,松山友美,本下潤一,竹内聡. IVIG 療法後に汗疱、他剤薬疹を生じた一例. 第 45 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会 2015/11/20-22, 松江市
70. 岩崎菜保子,中尾匡孝,本下潤一,竹内聡. 落葉状天疱瘡の一例.第 375 回日本皮膚科学会福岡地方会 2015/11/23,福岡市

71. 松田知与,岡部倫子,高松紘子,原田佳代,占部和敬. 皮膚科におけるプロカルシトニンの有用性. 第 374 回福岡地方会 2015/9/27,北九州市
72. 松田知与,竹井賢二郎,辻学,高原正和,松田哲男,古江増隆. 黒色分芽菌症の1例. 第 59 回日本医真菌学会総会・学術集会 2015/10/9-10, 札幌市
73. 松田知与,辻学,森岡由佳,溝手美華,竹井賢二郎,高原正和,松田哲男,古江増隆. 原発性皮膚クリプトコックス症の1例. 第 79 回九州真菌懇話会 2015/12/6, 鹿児島市
74. 北川徳子,三苫千景,小西さわ子,安河内由美,内博史,古江増隆. 好酸球性筋膜炎の一例. 第 374 回福岡地方会 2015/9/27, 北九州
75. 二村昌樹,齊藤麻耶子,山元貴和子,中原真希子,中原剛士,Jonathan Batchelor,古江増隆,大矢幸弘. ステロイド外用薬への不安評価尺度 TOPICOP 日本語版の開発. 第64回日本アレルギー学会学術大会 2015/5/26, 東京